	ねらい	A Ⅰ：規則正しい生活習慣	ねらい	Ⅱ：運動の調整	ねらい	B Ⅰ：心の調整	ねらい	Ⅱ：自然や美への情緒や感情の育み	ねらい	C Ⅰ：規範意識を高める	ねらい	Ⅱ：自然や環境を大切にする	ねらい	Ⅲ：個性の伸長	ねらい	D Ⅰ：自他の大切さを認める態度	ねらい	Ⅱ：助け合いを大切にする態度	ねらい	E Ⅰ：基礎的・基本的な知識、技能	ねらい	Ⅱ：前に向かって進んでいく力	ねらい	Ⅲ：学び続ける姿勢	ねらい	Ⅳ：人とつながる力	ねらい	F Ⅰ：働くことの意味を知る	ねらい	Ⅱ：支援を求める力	ねらい	Ⅲ：伝統と文化の尊重
⑫		□自分の生活を振り返り、自主的に改善しようとする □余暇の過ごし方や時間の切り替えなど適切な過ごし方を自分で計画する	#	□いろいろなスポーツに興味関心を持ち取り組もうとする □余暇活動として、自分に合った運動を選び活動できる		□心身の体の成長を肯定的に受け入れることができる。 □ストレスや不安を解消する手段を持ち感情や力をコントロールできる。 □将来を具体的に前向きに考えることができる		□好意的に自然に触れる生活習慣を持つ □好きな芸術の製作や観賞を生活に取り入れる		□集団生活において、他者理解を深める		□日常生活での廃棄物の処理方法、および自然保護や動物愛護のルールを守る		□得手不得手などの自己理解を深める □自分の得意分野で貢献する喜びを知る □自からしさを求める		□常に自他の尊厳に配慮した態度をとることができる □人権を尊重する態度を養う		□今大切なことは何かを判断し、自分の感情や欲求をコントロールしながら、集団や他者のために行動することができる □集団の中で自分の役割を理解し、実践する		□自己の意見を持ち、他者と適切に関わり主体的に生活する □自分の行動を振り返り報告するための文章が書ける □情報媒体から必要な情報を取り出し、活用することができる		□将来（長期的な）の目標に向けて段階的な目標を設定し、達成に向けて取り組むことができる □将来の夢に向けて今頑張ることを決め取り組むことができる		□授業や設定された課題以外でも自分から学ぶ姿勢を身につける □自己の振り返りから改善すべき課題を自分で見つける □課題に応じて自分なりの方略を見つける		□相談できる相手を見つける □適切なタイミングで相談することができる		□勤労の目的を明確にする □目的達成のための道筋をイメージし、実践する		□困った状況やそれが予測されるとき、相談し対処する習慣を身につける □急な変化による困難な状況も周りの人に相談し乗りきることができる □相談できる相手や機関を活用することができる		□芸術作品に自主的に触れる機会を持ち、理解を深めようとする □伝統芸能などに自主的に触れる機会を持ち、理解を深めようとする
⑪	#	□食事のバランス、睡眠時間、運動量と健康な生活との関わりについて知る □病気の知識、予防、対処法について知る	#	□向上心をもってスポーツに取り組む □他者と競いながら運動機能を向上させようとする		□不安な感情が起こる状況で、自分に合った対応を知る □ストレスを発散する方法がある		□四季による身の回りの環境変化を知る □芸術の分類を知り、好きな分類を探す □芸術作品を制作し、技術を向上させる		□ルールと行動を照らし合わせ、振り返りができる □時間の管理ができる □社会には法があることを知る		□日常生活での廃棄物がどうなるか、および自然保護や動物愛護のルールを理解する □環境保全に必要な課題を知る		□他者と違いのある自分を受け入れる □他者の良いところから学ぶ		□自他を大切にする心を育てる □人権について知る		□集団全体を大きく見ることができる □集団の中で自分の立ち位置を理解し、得意なことを活かすことができる		□到着時刻から考えて計画的に公共交通機関を利用することができる □予算にあった買い物を計画することができる □状況に応じた言葉遣いをすることができる		□将来（長期的な）の目標を設定することができる □将来の夢がある		□新しい課題が苦手な分野であっても挑戦することができる □興味を持続発展させることができる		□自分の思いを より正確に表現できる方法や手段、語彙を増やす □自分の意思伝達について確認し、適宜補足することができる		□就労を支える生活の確立をめざす □自分の力に応じた実習先を選択できる □進路決定に必要な自己の理解を深める		□困っている状況で相談すべき相手が居る □自分の苦手な状況を、あらかじめ伝えることができる □公的な機関に対する知識を身につける		□芸術作品に興味関心を持って鑑賞する □伝統芸能などに興味関心を持って鑑賞する
⑩	#	□自分の健康状態を知る □自分の体に必要な食事と運動のバランスを維持しようとする □成長による自分の体の変化を知り、自身の身体に関心を持つ	#	□持続運動においてペース配分を考え、調整することができる □周囲の状況に応じて、運動の緩急を調整することができる □ルールを理解して、ゲーム性のある運動ができる		□心や体の変化に対して、適切に対応できる □感情や力をコントロールしようとする		□様々な自然現象に興味を持つ □音楽や芸術作品に対する興味の幅を広げる		□善悪を判断し、ルールにそった行動がとれる □集団や場面がかわっても、自分で正しい判断ができる		□物や道具を扱うためのルールを守って、大切に扱うことができる □動植物などの自然や相手に敬意を払い、大切にできる		□自分の得意なところ・よいところを伸ばす □友だちの よいところを認める		□自分が かけがえのない存在であることを知る □自分と同様に他の人の命を大切にできる		□不特定多数の人と交流し、活動の場を広げる □周囲の人が困っていることに気付き、手伝うことができる		□中期(週・月単位)の見通しをもって行動できる □説明書等を読んで理解し器具の操作をしたり、知りたい情報を収集したりできる □自分の気持ちや考えをことばにまとめることができる		□目標達成に必要な情報を得たり経験をつんだりする □目標達成に向けて、積極的に新しいことに挑戦する		□自分の得意なこと・興味を持てることについて、上達するためにはどうすればいいのか考える □自分が分からないところを、調べたり他の人に尋ねたりできる		□周りへの影響を考えて表現やタイミングを選ぶことができる □様々な集団の中で自身の思いと他者の思いの違いを受け入れることができる		□進路や社会生活に必要なマナーや態度を状況に応じてとることができる □進路の情報や知識から、進路の選択ができる □実習を通じて自分の能力を知り、伸ばそうとする		□自分が困ったときに、周りの人にうまく伝えることができる □自分の状況（～で～できない）や不調時（気持ちが悪い、しんどい等）を周りの人にうまく表現することができる		□身近な外国文化に興味を持ち、意欲的に学ぼうとする □より多くの伝統的な文化を学び理解を深めようとする
⑨	#	□自分の体の状態を把握し、必要な食事と運動のバランスについて知る □食事の好みに応じた量の調整や、メニューの選択を行う □自分に必要な運動量を知り、実践する	#	□必要に応じて複数の動きを組み合わせて運動することができる □怪我に注意して運動することができる □概ね指示に従って行動することができる（待つ、動くなど）		□心や体の変化を理解し、受け入れる □感情や力のコントロールを学ぶ □不安な感情を表出して処理する		□感情や経験、想像したことを音楽（歌、器楽、ダンスなど）で表現することができる □感情や経験、想像したことを絵で表現することができる		□善悪を判断することができる □集団が変わっても善悪の判断ができる		□共有の道具を扱うときのルールを知っている □天気など自然現象や自分の身体の変化やその特徴について興味関心を持つ		□友だちと協力して活動する機会を増やす □友だちとのかかわりの中で、自分の得意なことを見つける		□自分と他者は違うことを受け入れることができる □命の大切さを知る		□教員の急な手伝いなどの指示であっても、やり遂げることができる □同じクラス、グループ以外の児童生徒と協力することを経験する		□短期(一日)の見通しをもって行動できる □買い物の際、合計金額を計算したり お金のやりとりをスムーズに行える □自分の気持ちやその日にあったことなどを、短い文で表現したり発表したりできる		□目標に向けて、さまざまなことにチャレンジする □目標達成のために、アドバイスを受け入れたり計画を変更したりできる □目標を達成するには、色々な方法があることを知る		□言葉かけなしで、課題に取り組むことができる □自分の得意なこと・興味を持ちることを見つける		□自分の意思を色々な方法で他者に伝えられる □様々な集団の中で他者の思いを受け入れることができる □自分の言動が相手に影響を与えることを知る		□進路や社会生活に必要なマナーや態度を体験を通して考える □体験を通して進路選択に必要な情報や知識を得る		□自分が困ったときに、どのようにすればうまく伝わるかを考えることができる □自分の状況（～で～できない）や不調（気持ちが悪い、しんどい等）を整理してそれに応じて思いを表現することができる		□身近な外国文化を学ぶ □より多くの伝統的な文化を学ぶ
⑧	#	□成長に必要な食事のバランスについて知る □自分の食事の好みや量を把握する □自分に必要な運動量を知る		□手先や足先などの細かな身体の動かし方について意識する □どのようにすればより効率よく身体を動かせるようになるのか学ぶ □手本を見て動作の模倣ができる		□自分の身体が変化することを知る □自分の心の変化に気づく □自分の心身の状態を把握する		□様々な植物や動物に興味を持つ □多くのジャンルの絵や音楽に触れる		□学部や学校等のルールとその意味について知っている □場面や場所によってルールが違う場合があることを知る		□自分のものや共有の道具を大切にし、適切に使うことができる □動植物の良さや特徴に気づき、興味関心をもって接する		□自分と友だちの違いを知る □集団の中で色々な人との関わりを持つ		□自分の得意なことに自信をもって取り組む □友だちのよいところに気づく		□特定の教員だけでなく他の大人と関わることができる □同じクラス、グループ以外の児童生徒とも関わることができる		□簡単な計算やお金のやりとり、時間がわかる □簡単な文章を読み書きできる □自分の気持ちをことばやしぐさで表現できる		□長期(3年後・卒業後)の目標をもち、達成するための方法を考える □長期の目標をもち、必要に応じて振り返りを行うことができる		□少しの言葉かけで、課題に取り組むことができる □一つの課題をやり遂げる達成感を味わう		□様々な集団の中で自分の意思を表現できる □自分の意思を色々な方法で表現できる		□進路や社会生活に必要なマナーや態度を知る □様々な進路があることを知る		□自分が困ったときに、自分などのようなことで困っているのか考えることができる □自分の状況（～で～できない）や不調（気持ちが悪い、しんどい等）を整理してどのようにすればよいか考え、伝えることができる		□身近な外国文化に興味を持つ □より多くの伝統的な文化に興味を持つ
⑦		□自ら、食事のマナーや食べ方に気をつけることができる □自ら、体力づくりのための運動（ランニング等）をすることができる	#	□体育用具（マット、跳び箱、鉄棒、なわとび等）に合わせた活動をすることができる □様々な模倣（体操、ダンス等）をすることができる		□苦手なことにも、挑戦しようとすることができる □あきらめずに最後までがんばることができる		□自分の感情に合わせて歌ったり、踊ったりする □経験したものや事柄を自分なりの表現で描く		□場面が変わっても（校外等）集団内のルールやマナーを守って活動することができる □特定の教員（担任等）がいなくてもルールを守って活動することができる		□身の回りのものや道具を大切にし、適切に使うことができる □動植物を大切にし、やさしい心で接することができる		□友だちの得意なことを知る □友だちの良いところを知る		□「自分でできる」という気持ちを持って活動する □何事にも挑戦する気持ちを持つ		□集団の中で簡単な役割を果たすことができる □自分の役割を意識して活動する		□物を買うにはお金が必要であることを知る □お金を払う、おつりをもらう等の買い物のやりとりができる		□近い未来への目標（体育大会の徒競走で1位になりたい、等）を持つことができる		□学習に対する意欲を高め、一つの課題をやりきることができる		□様々な集団の中で、自分の意思を表現することに興味を広げる。 □様々な集団を経験し、人と関わることを楽しむ		□手伝いや係活動をすることで、褒められる経験を積み、自分の役割や達成感を感じる □一定期間（学期や通年）一つの仕事（役割）をやり通す		□自分が困ったときに「手伝って」等、教員に助けを求めることができる。 □自分の状況（～で～できない）や不調時（気持ちが悪い、しんどい等）を相手に伝えることができる		□地域の伝統的な行事（夏祭り、秋祭り等）に参加することを楽しむ □身の回りにある様々な文化・伝統行事を行うことを楽しむ（暦の祝日、食事の風習等）
⑥		□教員の促しで、食事のマナーや食べ方に気をつけることができる □教員の促しで、体力づくりのための運動（ランニング等）をすることができる		□簡単なルールのあるゲームができる □言葉かけ等で複数の動き（走って跳ぶ等）を連続することができる □簡単な動作の模倣ができる		□周囲の応援等で、苦手なことも頑張って活動することができる □苦手なことにも短時間向き合うことができる		□音楽に合わせて手をたいたり、踊ったりすることを楽しむ □好きなものを自分なりの表現（みたて等）で描く		□学部や学校などのルール（廊下を走らない等）を守ることができる □小集団の中で活動することができる		□動植物の世話をすることを楽しむ □野菜等の収穫を楽しみにして育てる		□友だちや周りの人が何をしているのかに興味をもつ □周りの人が使っている物や遊具に興味をもつ		□繰り返し取り組むことで、一人でできる活動を増やす □一人でできることに達成感を持つ		□友だちを誘って遊ぶ □友だちのお世話をする □自分から友だちへ関わろうとする		□一日、一週間等の流れをつかんで生活する □一日の中の時間を意識して活動する（10時から授業、8時からテレビを見る等）		□何段階か先（一日や一週間等）の見通しを持って行動することができる		□難しい課題にも、繰り返し、少しずつ取り組むことができる		□親しい友達と積極的にかかわる。 □クラス や学年など身近な友達と関わりを増やす		□決められた当番の仕事（給食準備や配膳等）を自分から進んで行うことができる □教員の手伝い（道具運び等）を自分から進んですることができる		□自分なりの方法で自分の意思（～と～がしたい、～で～がほしい等）を伝えることができる □相手に伝わるまで、自分の意思を伝えようとする		□地域の伝統的な行事（夏祭り、秋祭り等）に興味を持つ □身の回りにある様々な文化・伝統行事に興味を持つ（暦の祝日、食事の風習等）
⑤		□好き嫌いなく食べることができる □一日の生活リズムを整える □様々なあそびを通して、体の動かし方を身につける		□言葉かけや合図で基本的な運動（歩く、走る等）をすることができる □教員の動きを見て、自分で体を動かす（体操等）ことができる		□親しい友だち（クラスメイト等）の中で落ち着いて活動することができる □複数の教員（担任以外等）と意思疎通ができる		□自分で音を出したり、音楽（曲）にあわせて体を揺らしたりして楽しむ □絵を描くことに興味をもつ		□学級や学年などのルール（友だちを待つ、集団に自分を合わせる等）を守ることができる □友だちの中で一緒に活動することができる		□動植物などが変化（成長）することに気づく □季節や天気などが変化することを知る		□自分の得意な活動に積極的に参加できる □自分の好きな活動に積極的に参加できる		□教員の見守りや言葉かけで、できる活動を増やす		□友だちと一緒に遊んだり、関わったりすることを楽しむ		□一日の流れや予定を意識する（学校に行く、学校にいって病院に行く等） □家庭や学校での毎日の活動を主体的に行う		□近い段階（次の授業や活動）の見通しを持って行動する □見通しを持って、授業に参加することができる		□好きな活動や課題を自ら行い、成功体験を積む。		□簡単なやり取り（質問に答える、頼まれごとを行う等）をすることができる。		□決められた当番の仕事（給食準備や配膳等）を行うことができる □教員の言葉かけ等で、手伝い（道具運び等）をすることができる		□言葉や絵カード、身振り等、複数の手段を使って相手に自分の意思を伝えることができる □複数の人に同様に理解される方法で要求を伝えることができる		□地域の伝統的な行事（夏祭り、秋祭り等）を経験する □身の回りにある様々な文化・伝統行事を知る（暦の祝日、食事の風習等）
④	#	□苦手なものも自分で食べることができる □楽しみながら食事を行う □疲れたときには休養・睡眠をとることができる □あそびを通して、体を動かすことを楽しむ	#	□立った状態で衣服や靴の着脱等を一人で行う □階段や坂道の上り下りを一人で行う		□特定の教員（担任等）と一緒に活動することができる □特定の教員（担任等）と意思疎通ができる		□好きな植物や動物がある □好きな音楽や絵等がある		□日常生活で必要な決まり（手洗いをする・歯みがきをする等）を守ることができる □時間（始まりの時間、終わりの時間等）を意識することができる		□身の回りの植物の違い（様々な種類があること）に気づく □様々な生き物に興味を持つ		□好きな物や遊具で、あそびを広げていく（ごっこあそび等） □好きな物や遊具を教員や友だちと一緒に楽しむことができる		□身近な大人に褒められることで、「できた」喜びを経験する □身近な大人に褒められることを目標に、活動することができる		□教員と友だちの中で一緒に遊ぶ		□一人で身の回りの処理ができる □なぞりがきができる		□自分のこと（身の回りのこと、授業の課題）を自分で行う		□様々な授業の活動に意欲を持って取り組む □授業内容や教材の変化に気づき、楽しむ		□自分に対して話している相手に注意を向けることができる □相手の話（絵カードや身振り、言葉等）を理解することができる		□教員と一緒に簡単な手伝い（道具運び等）ができる □教員と一緒に当番の仕事（給食の配膳等）ができる		□自分の要求（～をしたい、～がほしい等）を相手に伝えることができる（言葉、動作、カード等） □簡単な感情を言葉や絵カード、身振りなどで伝えることができる		□季節ごとの行事（七夕、お正月、節分等）で、みんなで活動することを楽しむ
③	…	□支えがあれば水分摂取や苦手なものも少しずつ食べることができる □日中に活動し、夜に眠るリズムをつける □体を動かして、あそぶことを楽む	#	□衣服や靴の着脱等を少しの支援で行う □階段や坂道の上り下りを少しの支援で行う		□好きな音楽や遊具を使った活動を、落ち着いてすることができる □自分が安心できる環境（場所）で、しっかり活動することができる		□身近な植物や動物への興味を深める □絵（絵本）や音楽（音）の楽しさ、おもしろさを感じる		□特定の教員（担任等）との簡単な約束（～ができたら～をしよう等）を守ることができる		□身近な道具やものを正しく扱う □身の回りの動植物に興味を持って触れる		□自分の好きな遊びや遊具を増やす □好きな物やあそびを自分で選ぶ		□教員と一緒に活動できることを増やす		□教員と1対1の関係の中で遊ぶ □友だちをつくることができる		□少ない支援で身の回りのことができる □形が分かる		□教員の見守りや言葉かけで授業や生活面の課題に取り組むことができる		□好きな授業で行うあそびや、制作を楽しんで活動する		□簡単な自分の気持ちを自分なりの方法で伝える □伝えられる自分の思いを増やす		□次の活動に必要なものを準備する □活動の終わりに片付けをする		□簡単な発語によって要求（ちょうだい等）を伝えることができる □絵カードや身振りなどを使って一定の要求（ちょうだい等）を伝えることができる		□季節ごとの行事（七夕、お正月、節分等）の活動に興味を持つ
②		□好きなものを中心に、食事を摂ることができる □定時排尿ができる □日中はしっかり活動して、夜にしっかり眠る		□衣服や靴の着脱等を教員と一緒に行う □階段や坂道の上り下りを教員と一緒に行う	#	□好きな音楽やお気に入りの遊具がある □好きな遊びがある □落ち着ける環境（クールダウンできる方法）がある		□教員の働きかけで身近な植物や動物に興味をもつ □絵（絵本）や音（音楽）に興味をもつ		□教員と一緒に順番を守ることができる □見通しがもてれば教員と一緒に一定時間待つことができる		□身の回りの物や動植物の存在に気づく □教員と一緒に身の回りの物を丁寧に扱う		□身のまわりの物や遊具であそぶことを楽しめる □身のまわりの人に興味をもつ		□特定の教員（担任等）となら、「やってみよう」と思う気持ちを持つ		□同じクラスや同じグループの児童生徒と同じ場所で活動する □身近な友だちに興味をもつ		□教員と一緒に身の回りのことができる □自分の名前がわかる		□教員と一緒に授業や生活面の課題に挑戦できる		□授業で行うあそびや、制作に興味を持つ		□担任や学年の教員や身近な大人に興味を持つ □教員と一緒にあそぶことを楽しむ □人や顔の注視ができる		□自分で出した物は自分で片付ける □自分の荷物（服や水筒、連絡帳等）を自分で出し入れする		□特定の相手に対して感情表現（楽しい、怖い等）を行うことができる □特定の相手に対して簡単な要求（ちょうだい等）を伝えることができる		□季節ごとの行事（七夕、お正月、節分等）の雰囲気を味わう
①		□食べることへの欲求がある □日中の活動があり、夜に眠ることができる □定時排尿に取り組む		□ものを指でつまむことができる（つかむ） □平坦な場所を1人で歩く	…	□特定の音楽に反応（微笑み、振り向きなど）する □特定のもの（おもちゃやえほん）に積極的にふれようとする □好きな場所がある		□身近な植物や動物にふれる □絵（絵本）や音楽（音）にふれる		□気持ちが安定しているときには、教員と一緒に一定時間待つことができる □サインで待つが分かり、行動を一時とめることができる □着席できる		□身の回りの物や動植物にふれる		□身のまわりの物や遊具の存在に気づく □身のまわりの人の存在に気づく □興味のあるものに手を伸ばす		□特定の教員に関わりを求める □特定の教員と一緒の空間にいることができる		□だれかのマネをする □身近な友だちの存在に気づく □友だちと一緒の空間にいることができる		□教員と一緒に身の回りのことに取り組める		□教員の寄り添いで授業や生活面の課題に挑戦することを受け入れる □教室内に入ることができる		□授業で行うあそびや、制作にふれる □授業に参加することができる		□担任や学年の教員や身近な大人にの存在に気づく □教員と一緒にあそぶことを経験する □声がする方向を向くことができる		□自分の所有物を概ね理解する □自分の荷物を教員の支えのもと、自分で出し入れする		□周囲の人に対して感情を伝えようとする（微笑む、泣くなど） □周囲の人に対して簡単な要求（指さし等）を伝えようとする		□季節ごとの行事（七夕、お正月、節分等）を経験する